

(秋)新装オープン

4F…レッスン教室 管弦教室

3F…主として管楽器を40~50
本展示して居りゆっくり
と選んでいただけます。

2F…弦楽器(バイオリン)を多
く展示して居ります。又、
内外の楽譜を多く在庫し、
皆様の御来店をお待ち申
して居ります。

1F…エレクトーン・キーボー
ド展示。

株式会社
ヤマハミュージックストア太田洋行

楽器ショップ

岡山市表町1丁目4-52

TEL (086) 232-2604(代)

榎本辰郎喜寿記念 コンサート



'92 10/10 (祝・土)
PM6:30

岡山シンフォニーホール

- 主催/榎本辰郎喜寿記念コンサート実行委員会
- 共催/日本弦楽指導者協会岡山支部
- 後援/岡山大学教育学部音楽教室同窓会「蒼声会」、
岡山市教育委員会・山陽新聞社・山陽放送

ごあいさつ

本日は、お忙しい中を榎本辰郎喜寿記念コンサートにおいで下さり、ありがとうございます。

榎本辰郎先生は、昭和20年代後半に岡山へ帰られ、岡山でのオーケストラ運動に、並々ならぬご尽力を戴きました。岡山大学学友会交響楽団、岡山大学音楽教室管弦楽団、岡山放送交響楽団、岡山市ジュニアオーケストラ、倉敷管弦楽団等々の創設、育成に尽され、岡山のオーケストラ隆盛の基礎を築いて下さいました。この間、先生は卓越したご識見と豊富なご経験をもとに、私達をご指導下さり、数多くの音楽家や教育者を育て見守って来られました。今年、先生が喜寿(77才)を迎えられたのを期に、長年お世話になった者達が相計り、記念オーケストラを結成して、先生に指揮していただくことと計画しました。気心の知れた先生練りの者達の情熱が、必ずや、すばらしいステージを繰り広げ、感動を呼ぶ演奏ができるものと信じております。どうぞ最後までごゆっくりご鑑賞下さい。

実行委員長	星島 明郎
実行委員	竹本 洋
〃	西田 毅雄
〃	有道 惇
〃	小山 洋治
〃	坂口 充倫
〃	菱川欣三郎



榎本辰郎 略歴

- 1916 岡山市生まれ。
- 1941 慶応義塾大学法学部卒、同時に日本石油㈱に入社。
- 1946 日本ビクター㈱入社 文芸部洋楽課に配属。
慶大在学中、慶大ワグネル・ソサエティーに於て、合唱、チェロ、ファゴット、指揮等を経験。
チェロは、大塚楠男、鈴木聰氏に、ファゴットは、金子登、三田平八郎氏に、指揮は、大塚淳、山口正男氏に師事。
コンセル・ボビュレル管弦楽団(現東フィルの前身の一つ)OB交響楽団等に所属。
- 1954 父死亡、家業継承のため、帰岡。
帰岡後、岡山大学教育楽部(音楽)の講師(チェロ奏法、管弦合奏、指揮法等)に迎えられ、1991年3月退職。
その間、同音楽教室管弦楽団、同楽友会交響楽団、岡山フィルハーモニー、岡山放送交響楽団、岡山市ジュニア・オーケストラ、倉敷管弦楽団等の創立につきすと共に、指導育成に当る。
音楽事情視察、研修、鑑賞のための、欧米旅行、十数回。
本業、榎本グループ各社(榎本、榎本産業㈱、榎本商事㈱、その他)の各取締役 会長
- 1983 岡山県文化功労賞(社会教育部門 音楽)授賞。

本日は、皆様お忙しいのによくおいで下さいました。

私は1916年(大正5年)生れです、誕生日が10月11日ですから、明日丁度満76才に成るわけです。昔流に数え年でいえば(喜寿、米寿等は、みな古来の風習ですから)本年初頭より77才になっているわけです。

この間、大正、昭和、平成と生き長らえ、幼少の頃より音楽は大好きで、我流で色々やってはいましたが、昭和10年東京に出て慶大の予科(旧制高等学校課程)に入学以来、本格的にオケの道にのめり込んでしまいました。そのため留年もいたしました。慶応音楽大学は優等生(法学部劣等生)で卒業することが出来、今日まで色々なことをやって参りました。

こんなことが出来たのも、周囲の皆様の暖かいご理解と、ご援助があったればこそで、天に、地に、祖先、両親、先輩、後輩達すべての人々に感謝しなければならぬと思っております。

この度、関係者相集りこの様な企画をしてくれ、引退の花道を作ってくれました。誠に有難く、私もこの計画に乗り、本日は精魂込めてやらせていただきたいと思っております。

私はこのような幸せな人生を送らせていただき、神に感謝、関係者のみなさま、本日も来会の皆様にもこの紙面を借りて厚く厚く御礼申し上げます。

どうぞ、よろしく。

油を売り売り(本業は石油屋)一生を棒に振った男

榎本 辰郎

PROGRAM

全 ベートーヴェン (1770~1826)

●「エグモント」序曲 作品84 (1810年作 40才の時)

ゲーテの悲劇「エグモント」(1786年作)に感激して作った12種類の音楽の中の最初の曲(序曲)で、彼の序曲中でも最も有名なものの一つです。

●ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73「皇帝」(1809年作 39才の時)

- 第1楽章 アレグロ
- 第2楽章 アダージョ・ウン・ポコ・モッソ
- 第3楽章 ロンドーアレグロ

このピアノ協奏曲も彼の中期の最も油の乗り切った時代のもので、全く王者の風格です。「皇帝」と云うニックネームは彼がつけたものではないのですが、正に王者の風格を具え、人称んで「皇帝」と云っただけの価値はあります。又彼はこの協奏曲に満足したのか、これ以後、余生は17年もあったのに一曲も協奏曲は書いていません。

——— 休 憩 ———

●交響曲 第3番 変ホ長調 作品55「英雄」(1804年作 34才の時)

- 第1楽章 アレグロ
- 第2楽章 アダージョ・アッサイ
- 第3楽章 スケルツォとトリオ
- 第4楽章 アレグロ・モルトーポコ・アンダンテプレスト

彼の交響曲1番、2番は若い頃の習作のようなものであり、先人ハイドン、モーツァルトの模倣の域を脱していません。丁度この第3番の頃からが彼の本来の姿になり、あとに続く名曲の踏み台にもなっています。特にオーケストレーションにさまざまな工夫がされて居りその苦心のあとよく判ります。従って演奏メンバーに取っても大変面白く演奏出来ます。

又当時フランス大使よりナポレオンの事蹟を聞くに及び、彼の自由主義に共鳴しその姿を音楽に表現し彼に献呈しようとしたのです。ところが翌年ナポレオンが皇帝の座についた事を聞き知り、大変立腹しこの表紙を破り棄て“或る偉人の思い出のために”と書き直し出版したと云う、いわく付の曲です。

又、この曲は第3楽章に初めて、スケルツォを使った(従来はメヌエット)事でもエポックメイキングな手法です。

栢本辰郎喜寿記念オーケストラ

指揮／栢本 辰郎 ピアノ／伊藤 勝
コンサートマスター／小山 洋治

勝 副指揮／竹本 洋

●ヴァイオリン

I ○小山 洋治
今城 昭子
菊池 東
上月 恵
越宗 宣子
澤田 博仁
白石 良子
調 浩太郎
高旗 健次
田原 伸子
松井 俊輔
三宅 明子
三宅美智子
守屋美枝子
渡辺 早苗

II ○三好 淳子
片沼 愛希
北原 理香
妹尾隆一郎
千原 敬子
中桐佐知子
菱川久美子
前 哲夫
宮副久美子
三好 正子
山田 真弓
吉信 雅庸

●ビオラ

○黒住 彰夫
食満 悦三
中野 隆重
西崎 正浩
日比谷 平一郎
深沢 秀雄
守屋 桂樹
八木原周平
矢沢 康治
山本 勝典

●チェロ

○西田 毅雄
大矢 寛治
黒田 正典
後藤 真弓
平松 美穂子
前 光延 勢吾
水田 年紀
宮原 勅治
松本 巧
松下 修也 (客員)

●コントラバス

○藤井 正勝
井上 健三
谷一 尚
本屋敷勝信
松本 佳祐
安田 友子
岡村 剛敏
上山摩希子

●フルート

○星島 明郎
坂口 充倫
山崎由美子

●オーボエ

○有道 惇
吉田 容子
細美 肇

●クラリネット

○安田 勝亮
埴谷 寧夫
川名 光治
楠本 勝美
西村 洋子

●ファゴット

○大守 利紘
栢野由加恵
松森 正和

●ホルン

○西崎 大修
板谷 信昭
小山 紀章
佐藤 尚子

(○は首席奏者、他アイウエオ順)

●トランペット

○吉田太美男
前原 尚規
斎藤 正一

●ティンパニ

奥原 弘之



PIANO 伊藤 勝



岡山市出身。岡山県立岡山大安寺高校を経て、1977年大阪音楽大学卒業。1979年同大学大学院修了、その間梅本俊和、平井丈二郎、山崎孝、金光武義の諸氏に師事する。大学院在学中より、主にソロピアニストとして演奏活動を始める。1977年「なわ芸術祭新人奨励賞」を受賞。1980年西ドイツ・フランクフルクにてヴィタリー・マルグリシ教授に師事、修了演奏会に出演。帰国後大阪フィル、京都市響等と共演するとともに、各地で意欲的なプログラムでリサイタルを開催。その成果は1981、84年「大阪文化祭賞奨励賞」、1986、89年には「大阪文化祭賞本賞」を受賞するなど、高く評価されている。また、1992年には、リスト／巡礼1、2年による東京レビューを好評の内に終えた。現在、大阪音楽大学非常勤講師。